

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

オリンピック招致をてこに 石原都政がすすめる 東京港大改造^{計画}と中央環状品川線

2月25日から始まった区議会定例会で、日本共産党の菊池貞二議員は中央環状品川線問題を取り上げ、オリンピックをてこにして高速道路をつくったり東京港の大改造は環境破壊そのもの、「やめるべきだ」と主張しました。

東京港湾計画

東京港の貿易取扱量は、アジアの諸港に比べて少なくなっていることを理由に、都が競争できる国際港として港湾計画を作り直しています。その内容は、「世界と競う港湾サービスの実現」として、①コンテナ船の大型化に対応した新たな埠頭の整備。②バンプール・シャーシプール(大型トレーラーが牽引する荷台用の駐車場)を適切に配置して高機能物流拠点形成する、という港の大改造計画です。

総合物流ビジョン

同じく都が策定した総合物流ビジョンがあります。裏面にある図は「概ね20年程度の陸海空の広域物流ネットワークを形成する」というイメージ図ですが、道路を中心とした輸送ルートなどが計画



されています。

物流を支える道路ネットワークの整備を打ち出す

道路ネットワークとは、圏央道、外環道、中央環状のことです。また、臨海部の交通ネットワークを強化するために東京港臨海道路Ⅱ期事業の促進と新木場周辺のネットワーク整備を掲げています。

中央環状品川線は工事が始まったばかりですが、国と都はこの工事の完成を首を長くして待ち望んでいます。出来上がれば、都心を通らずに品川線を通して各地に大量の商品などを輸送できるからです。

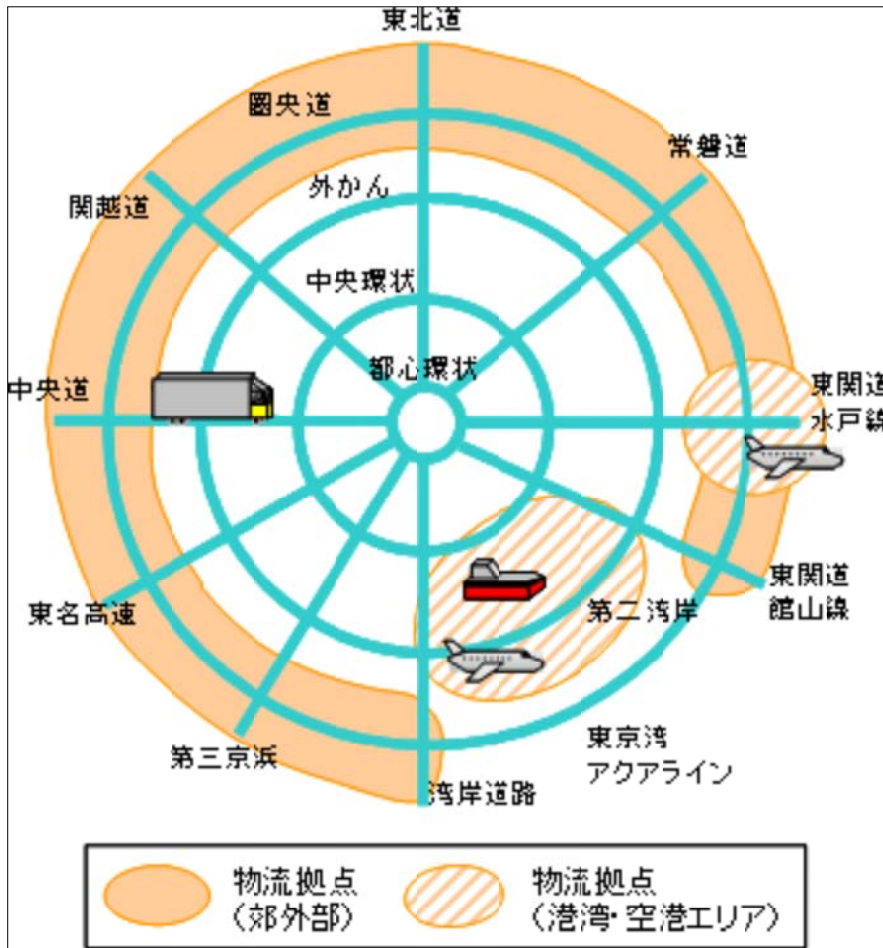
経済活動に必要なという
がこれでいいのか

東京港から陸揚げされた貨物を全国各地に輸送するためには道路ネットワークの整備

は欠かせないとして作成されたふたつの計画は、経済活動や消費生活にとつては必要なものではありませんが、すぐそばに住んでいる私たちにとつては交通量の問題をはじめ、

やむなしとして見過ごせる内容ではありません。

輸送ルートの整備は必要でも通行量は増大する



大型トレーラーの通行量が増大するのは確実ですが、その増大するのには、また大気汚染が深刻になります。5年間の時限とはいえトヨタなどの自動車メーカーは、ようやく健康を害された人たちに医療費助成をしましたが、大型トレーラーによりジゼル排ガスが加速するという心配がまた出てきます。都は、中央環状品川線ができる都心を通らずに全国に輸送できるといいますが、汚染エリアが広がるだけです。こんな計画ではまったく不十分です。

地球温暖化をストップさせるために世界中が力をあわせようとしているとき、先進国の日本は先頭に立つべきです。ところが、日本のCO₂排出は増えるばかりで、大企業の姿勢もかなり消極的です。経済活動の停滞は許されないとして地球環境を悪化させるの止め、地球環境を守ることに徹する、この立場が大事です。

地球環境を守ることに徹する——この立場が大事

車中心ではなく鉄道輸送を広げるべき

物流計画に鉄道の活用はあっても影の薄い存在です。理由として、コンテナターミナルと貨物駅の間をトラック輸送

するその分のコストが別にかかるからだといえます。また、トラックだと即刻輸送をスタートできます。即効性とコストは大事ですが、環境負荷を伴うのであればその計画は認められません。

生活のこと・仕事や子そだて・教育など、困っていることがあれば、いつでも気軽ににご相談ください。
連絡先 南恵子事務所 電話・FAX(3790)1523